

# 渥美農高の取り組み

# みかわ牛便り



1号

私たちは昨年度から、みかわ牛の知名度を向上させるための活動を始めました。

私たちが所属する動物科学部では、和牛の肥育をし、年間2頭、和牛甲子園という大会に出品しています。昨年度、その大会に出荷した肥育牛から、愛知県が誇る和牛ブランド「みかわ牛」の生産を開始しました。「みかわ牛」というブランド牛の生産に挑戦する中で、この素晴らしいブランド牛をもっと多くの方に知ってもらいたいと思うようになりまし。昨年度の活動として、本校で生産したお米を販売しました。そのお米は、本校で飼育する牛の飼料として稲わらを生産するため栽培したお米です。稲わらは牛へ。そしてお米は人へ食べてもらうため、精米を渥美農マーケットなどで販売しました。その際に、お米のラベルにQRコードを掲載し、そこからみかわ牛の情報や部活動を知っていただけるようにしました。

実際に、本校では多くのみかわ牛を生産することはできません。しかし、牛を育てる以外の方法でも「みかわ牛」の魅力を伝えることができます。この、「みかわ牛便り」もそのひとつです。私たちが作ったこのみかわ牛頼りを見た人に、少しでもみかわ牛の魅力をお伝えできるように、良い内容をお届けできるように頑張ります。



# みかわ牛とは？

みかわ牛は、平成2年にブランドとして確立し、現在まで愛知県の和牛ブランドとして生産されています。令和2年9月には販売促進やブランド力向上を目的とした「みかわ牛銘柄推進協議会」が設立され、他県のブランド牛に並ぶような知名度の向上を目指して動きが進んでいます。

県内54か所の農場で生産されており、どの生産者の方もそれぞれこだわりを持って、良質な肉を生産しています。

みかわ牛の課題として、1番に挙げられる課題は「知名度の低さ」です。県内消費がほとんどで、他県へ知ってもらう機会が決して多くはありません。愛知県の和牛生産者の方のこだわりがたくさん詰まった、おいしいみかわ牛を、多くの人に食べていただき、愛知県の和牛生産の魅力を知っていただくためにも、これからも様々な手法で宣伝活動を続けていかななくてはなりません。

## みかわ牛の定義

- 一、認定農場で一年以上肥育
- 二、肉質等級四等級以上
- 三、県内三食肉市場に出荷

# みかわ牛生産者紹介 Vol.1



田原市中央に位置する渥美農業高校では、昨年度「みかわ牛」としての出荷を実現しました。渥美農業高校では、これまで繁殖経営を中心に進めてきましたが、全農主催の和牛甲子園が開催されたことをきっかけに和牛肥育への挑戦を開始しました。現在、母牛17頭を基盤に、年2頭だけ肥育牛を和牛甲子園に出品しています。みかわ牛の生産に挑戦している農業高校は渥美農業高校だけです。生産するだけでなく、みかわ牛のPRにも全力を尽くしていきます。

